

| | |
|-------|--|
| 科目名 | 地学Ⅲ |
| 開設大学名 | 岐阜聖徳学園大学 |
| 講師 | 教育学部教授 川上 紳一 (かわかみ しんいち) |
| 初回予定日 | 2017/4/11(火) |
| 授業時間 | 毎週火曜日 13:10 - 14:40 |
| 主会場 | 岐阜聖徳学園大学 羽島キャンパス(岐阜市柳津町高桑西1-1) 8号館3階8303講義室 |
| 聴講方法 | 対面授業 |
| 科目内容 | 地球システム科学、地球史、地球環境変動の研究における異分野融合的な研究事例を取り上げ、研究者の発想法や問題解決の方法を学ぶ。また、そうした研究で得られた科学の進歩の内容を理解する。また、高校で授業を行う場合、アクティブラーニングの視点から指導のあり方を考察する。 |
| 注意事項 | 4/18は学内行事のため授業がありません。6/27は学外実習引率と重なった場合、日程が変更になる予定です。 教科書を購入してください。「縞々学 - リズムから地球史に迫る」川上紳一(2015)(東京大学出版会) 参考資料 高等学校理科脅威箇書:地学基礎および地学。「地学図論」数研出版。 高校生は受講できません |
| 事前学修 | 2時間 授業内容に対応した教科書の章を読んで、授業で解決すべき課題をはっきりさせること。専門用語については、辞典などで調べておくこと。 |
| 事後学修 | 2時間 講義内容が、高校教科書でどのように扱われているかを確認する。 高校の授業で、内容をどのようにアクティブラーニングさせるかを検討する。 |

| | | |
|------|---------|----------------------|
| 第1回 | 4/11(火) | 地球システム科学:縞々学からのアプローチ |
| 第2回 | 4/25(火) | 地層の縞模様は何を語っているか? |
| 第3回 | 5/2(火) | 樹木年輪や珪化木の縞模様の意味解読 |
| 第4回 | 5/9(火) | 湖沼堆積物から古地震や火山噴火を探る |
| 第5回 | 5/16(火) | 太陽活動の歴史と地球環境への影響 |
| 第6回 | 5/23(火) | 古気候学 |
| 第7回 | 5/30(火) | エルニーニョの歴史 |
| 第8回 | 6/6(火) | 氷期 - 間氷期サイクル |
| 第9回 | 6/13(火) | 氷河時代の原因論:ミランコビッチサイクル |
| 第10回 | 6/20(火) | スノーボール・アース |
| 第11回 | 6/27(火) | 地球磁場変動 |
| 第12回 | 7/4(火) | 天体衝突現象と地球史 |
| 第13回 | 7/11(火) | 生物の進化と大量絶滅 |
| 第14回 | 7/18(火) | 地球史からみた地球温暖化問題 |
| 第15回 | 7/25(火) | 地球史からみた生物多様性問題 |